

佐伯のひと

島民憩いの場の復旧に尽力!

なかしま すすむ
中嶋 丞 さん (石間区)



整備された高台広場

大入島(石間浦)の高台にある「大正天皇駐蹕(ちゆうまい)記念碑」の広場は、サクラヤツツシなど色とりどりの花が咲き誇り、眼前には海と市街地とが広がる眺望抜群の場所。古くから島民憩いの場として親しまれています。

しかし近年、そこに至る登山路は、風水害などで崩壊状態となり、人々の足が遠のくにつれて雑草や雑木も生い茂るようになりました。そこで中嶋さんは、憩いの場を復活させようと、平成19年から雑木の除去や登山路の修復作業に着手。毎日のように地道な復旧作業を続け、約半年をかけて登山路と高台広場の環境の整備・美化を成し遂げました。現在も継続して同地の環境美化活動に取り組んでいる中嶋さんに、7月15日、市から感謝状の贈呈がありました。

中嶋さんは、「地区の人や高台を訪れる人が喜んでくれることが嬉しい。今後地域のために、そして自分の健康維持のためにも継続していきたい」と力強く話しました。

😊サイキッズ写真館



“のびのび大きくなってね!”

写真右から

鍛冶屋 しゅうま 宗馬ちゃん(5歳・新女島区)
みかな 心奏ちゃん(5か月)
すず 朱寿ちゃん(2歳)



“はあは・じいじが大好きです。いつもいろいろありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。”

りょうま
神崎 諒馬ちゃん
(1歳・西谷町)

今月の表紙

7月12日、直川憩いの森公園で今年も「直川かぶとむしまつり」が開催されました。メイン行事の木登り競争大会では、輝く太陽の下、“子どもたちとカブトムシ”という夏の主役たちがタッグを組み、熱い戦いを繰り広げました。

編集後記



昼間は、ずっと土に潜っているカブトムシ。我が家では子どもが寝る直前にやっと起き、エサのゼリーを食べるといった感じですが、それでも子どもは大好きな様子。「直川かぶとむしまつり」でも、カブトムシに触れる子どもたちの表情は輝いており、やはり特別な存在なのだ、と感じました。

理屈抜きにかっこいいツノの形。まるでヒーローのように思うのでしょうか。私も昔を思い出しながら、深夜じっと観察中。(上杉)